

あとがき

当館の『研究報告』は、平成八年度に第一号を刊行して以来、おかげさまで今回第一四号を刊行することができました。これもひとえに皆様方の御協力、御指導の賜物と感謝しております。

今号では、当館展示協力員の石田氏より、野田市の伊勢信仰についての論文を頂戴しました。氏は伊勢信仰が野田市において古くから関わりがあり、各神社の境内や拝殿内に多く残されている伊勢参りの痕跡から伊勢信仰の深さを考察しています。また、当館展示協力員の中村氏からは「久世廣業家記四冊之一」を、当館古文書研究会からは赤松宗旦著の「笏記」を紹介していただきました。最後に、研究ノートとして二名の当館展示協力員より、玉稿を頂戴しました。市川氏は「押堀」と「落堀」の治水地形用語の使い分けについて論考し、「おっぽり」は「落堀」ではなく、「押堀」と表記するのが正しいと結論づけています。岩槻氏は前号に引き続き当館周辺の植生について近況報告しています。各氏とも、御専門の立場から研究された極めて貴重な論考です。

これからも当館のテーマ「河川とそれにかかわる産業」に関係するさまざまな研究成果を、少しでも多く御紹介していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

なお、当館の展示協力員制度は、任期を二か年（平成二〇・二一年度）とし、次の方々に委嘱しております。

- ・新井浩文〔地域史〕（埼玉県立文書館主任学芸員）
- ・石田年子〔民俗〕（野田市文化財保護審議会委員）
- ・市川幸男〔河川土木〕（国土交通省国土交通大学校建設部建設第一科長）
- ・岩槻秀明〔自然科学〕（野草研究者・気象予報士）
- ・中村正己〔地域史〕（元境町教育委員会町史編さん室参事）
- ・松井哲洋〔和船研究〕（和船研究者）
- ・松丸明弘〔河川交通史〕（千葉県立東葛飾高等学校教諭）

千葉県立関宿城博物館 研究報告

第14号

平成22年3月25日発行

編集・発行 千葉県立関宿城博物館

〒270-0201 千葉県野田市関宿三軒家143-4

電話 04(7196)1400

FAX 04(7196)3737

印刷・製本 成田商事株式会社

〒305-0074 茨城県つくば市高野台2丁目11-6102

電話 029-869-8755

FAX 029-869-8756
